

2025年度 高崎高等学校アメリカ研修報告書（1日目）

2025年7月13日

1日目スケジュール

- 10:00 護国神社集合 出発
- 12:45 羽田空港到着
- 16:10 羽田空港出発
- 13:20 (以降、現地時間)
乗継地ミネアポリス空港到着
- 20:20 ミネアポリス空港出発
- 0:00 ボストン空港到着
- 1:15 タフツ大学到着



校長先生へ生徒代表の挨拶

いよいよ2025年度のアメリカ研修が始まり、参加生徒たちは早朝から学校に集合しました。集合時には全員が時間どおりに揃い、見送りに訪れた保護者の方々との別れを惜しみながらも、期待と緊張を胸に出発式に臨みました。式では校長先生から、かつて自身がボストンで研修を行った際のエピソードとともに、「アメリカという異なる文化の中に身を置くことで、視野が広がり、言葉以上の学びがある」といったメッセージが語られ、生徒たちは真剣な表情でその言葉に耳を傾けていました。これに応えるかたちで、生徒代表からは貴重な機会を頂いたことに対する感謝と決意表明が行われ、羽田空港へ向けて出発となりました。

学校から羽田空港までは貸切バスで順調に移動し、空港到着後は搭乗手続き、手荷物の預け入れなどを一人ひとりが丁寧にこなしました。キオスクでの手続きでは、ほとんどの生徒が英語での手続きに挑み、すべての手続きが無事に完了しました。長時間のフライトとなるアメリカ本土への移動に備えて、空港では各自が準備を整えながら、落ち着いた様子で出発を待ちました。自分たちに必要な情報を掲示板から確認する方法も学び、次に海外に行くときには、一人でも迷わずに行くことができることでしょう。

今回の乗り継ぎ地はミネアポリス。大きな混乱もなく一度目のフライトを終えましたが、最終目的地であるボストン行きの便は、機材到着の遅れにより約2時間の遅延が発生しました。それでも、生徒たちは変更された搭乗案内にも落ち着いて対応し、静かに時間を過ごす姿が印象的で、中には読書（勉強）に時間を費やす生徒も見受けられました。

日付が変わる頃、ようやくボストン・ローガン空港に到着。長旅にもかかわらず、生徒全員が健康を保ち、疲れた様子を見せながらも元気に空港を出発しました。その後、タフツ大学の宿舎へ向かうバスに乗り込み、到着後は部屋の鍵やミールカードが配布され、簡単なオリエンテーションが実施されました。ようやく寮に入り、各自が持ち場を確認した頃には日付も大きく回っていましたが、誰一人として体調を崩すことなく、無事に初日を終わることができました。

これから始まるアメリカでの体験に向け、確かな一歩を踏み出した一日となりました。



羽田空港にて 搭乗手続きを無事に終えて、行ってまいります。



約 11 時間のフライト後、ミネアポリス到着



乗継便が約 2 時間遅れ、その間ショッピング



予定より 2 時間遅れてボストン到着となりましたが、皆元気です。